

山寺通信

鶏谷山花栄寺だより

今号の記事：特集 開創五百年記念法要

- 記念法要厳修
- 綾子舞奉納
- 焼きそばとコーヒーでもてなしを
- 記念品をご活用ください
- 念彼観音力、能救世間苦—祈りのチカラ
- 行事案内

記念法要厳修

九月三十日、花栄寺開創五百年記念法要を厳修いたしました。近隣の御寺院様方の御助力を得て、観音懺法（かんのんせんぼう）というお経をお唱えいたしました。本尊・聖観世音菩薩様の前で、日常知らず知らずのうちに犯している罪業を懺悔（さんげ）し、清らかな心を取り戻す目的の法要です。引き続き御開山様の報恩諷経（ほうおんぶぎん）と檀信徒皆様の家門繁栄子孫長久を願うお経が読まれ、二十七名のお坊様方の読経が境内一杯に響き、荘厳な雰囲気包まれました。



しょうかんせおんぼさつざう
本尊様・聖観世音菩薩坐像



法要導師の大光寺様



檀信徒総諷経



厳かに観音様をお招きする鼓鉢が打ち鳴らされる



綾子舞奉納



開創五百年記念法要に合わせ、綾子舞の奉納を企画しました。檀信徒皆さまのほかにも、地域や県内外から、総勢二百名を超える大勢の方が来山しました。元来、座敷など室内で披露されていた舞を本堂でゆったり舞っていただき、綾子舞の新たな魅力を発見した一日でした。

焼きそばとコーヒーでもてなしを



昨年同様、今年も有志の皆さんのお力を借りて焼きそばとコーヒーの屋台を出すことができました。お忙しいなか最高の笑顔でお手伝い下さった皆さん、ありがとうございました。

ねんぴかんのりき のうくせけんく

念彼観音力、能救世間苦一祈りの功德

物質文明の最先端にある日本。貧しい国の人から見たら、日本はどんなに輝いて見えることでしょう。それにも拘らず、心から幸せを感じ、感謝して命を燃やしている、という人はごくまれです。多くの場合、モノにあふれ、情報(コトバ)にあふれ返る中、肝心な事を疎かにしているのです。

それは、念じ祈ることです。今の生活が満たされているなら、感謝の祈り。悩みや不安に打ちのめされそうになっているなら、助けを求める祈り。そして、家族や地域や国や人類社会の幸せを願う祈り。誠心誠意、純真に、熱烈に祈るとき、祈りが届かぬということはない。信じ切って、我が身の一切を擲って、祈って参りましょう。

記念品をご活用ください

法要の記念に皆様にお配りした法具について、なんという名前ですか？どう使うのですか？とお問い合わせを頂いております。「輪袈裟(わけざ)」という名前の法具で、法要やお寺の行事の際に首にかけてお参りください。来年は晋山結制という大きな行事がありますので、着用して出席いただけましたら幸いです。特別和装になる必要はありません。洋装でどうぞ。



開山忌お休みのご案内:

毎年十一月に開山忌を行っておりますが、今年
は開創五百年記念法要をもって開山忌とし、十一月
の行事はお休みとします。ご了承ください。

年始のご案内:

例年どおり、一月一日に年始を行います。また、三日
から市内各お檀家さん宅に年頭のご挨拶に伺います。
問合せ先:0257-29-2266(花栄寺)